

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
からふるkids野田		令和 7 年 3 月 10 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%		・利用人数が多いので、少し手狭に感じる時はある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	89%	11%	・適切に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	89%	11%	・トイレや廊下につっ手を設置してバリアフリー化の工夫をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	78%	22%	・毎日の清掃、消毒を行っている。 ・月に一度事業所を休業にして、普段手の届かない細かい部分を清掃している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	89%	11%	・利用者の状態によって個別に対応できるように仕切りを用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	78%	22%	・月ごとの目標を設定して、毎月の事業所会議の際に振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者向け評価表に記入されたご意見は職員間で共有し、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・月に一度の事業所会議のほか、定期的な職員一人ひとりの面談を行って意見を把握する機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	56%	44%		・行政による運営指導のほかには特に行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・月に一度の事業所会議の際に研修を行っている。 ・会社が主催する研修会に可能な限り職員を参加させている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・保護者との定期的な面談を欠かさず行い、利用者の課題やニーズなどを分析している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・月に一度の事業所会議の際に利用者の情報を職員間で共有し、支援計画について話し合いを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%	・月に一度の事業所会議の際にサービス計画について共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	89%	11%	・標準化されたツールを用いるほか、日々行っている朝礼・終礼において利用者の観察結果の共有を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	89%	11%	・児童発達支援管理責任者が主導のもと、具体的な支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	12%	・月に一度の事業所会議の際に活動プログラムの立案をチームで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・職員間で意見を出し合い、活動プログラムが固定化しないように話し合いをしている。 ・季節行事に関しても過去の事例を振り返り、内容が重複しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・個別活動と集団活動を一日の中に必ず組み込んで支援を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%		・出勤時間の兼ね合いから支援開始前に打ち合わせをできない場合もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	62%	38%		・退勤時間の兼ね合いから支援終了後に打ち合わせをできない場合もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	75%	25%	・サービス提供記録を作成、適切に保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的に保護者との面談を行って、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	・4つの基本活動を行えるように活動プログラムを立案している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・主に余暇活動中の過ごし方において自己選択の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・可能な限り児童発達支援管理責任者が出席し、関係機関とのつながりを作っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	・定期的にサービス担当者会議などに参加し、連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・学校からの引き渡しの際に情報共有を行っている。 ・必要であれば連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・児童発達支援事業所との多機能型施設なので、情報共有や相互理解は問題なく行えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	88%	12%	・連絡先への情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	・定期的に児童発達センターの見学を行い、その場で情報共有や助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	70%	30%	・児童館や公園遊びの際に、地域の他の子どもと一緒に活動することがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		・現状は参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・定期的な面談のほか、送迎の際などに保護者との情報共有を行っている。	
保護者への説明	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	70%	30%	・必要があればペアレント・トレーニングの機会を設けるほか、定期的に保護者参加型のイベントを企画している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	90%	10%	・契約の際に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・定期的な面談を行い、家族の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・放課後等デイサービス計画を作成する際は必ず保護者に支援内容の説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・定期的に面談のほか、保護者様から相談があった際には時間を作って対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	70%	30%	・定期的に家族参加型のイベントを企画している。	・父母の会は現状行っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情受付担当、苦情解決責任者の説明を行っている。 ・苦情が発生した際には迅速に対応している。	

等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・毎月発行している通信のほか、ブログやInstagramを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報の取扱いは最新の注意を払っている。 ・インターネットに写真を掲載する際は「写真掲載同意書」を用いて必ず同意を得ている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・子どもに対しては絵カードなどを活用して分かりやすく伝えられるように配慮している。 ・保護者様に対しては情報の齟齬が発生しないように細心の注意を払っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	90%	10%	・定期的に地域貢献ができるような活動や、地域参加の機会を設けられるような活動を企画している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	・感染症予防まん延防止委員会を設けている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	90%	10%	・定期的にBCP計画訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・服薬やてんかん発作のことは必ず確認し、職員間で周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	90%	10%	・アレルギーの情報は必ず確認し、職員間で周知している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	70%	30%	・定期的に安全計画訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%	・保護者の緊急連絡先の確認など行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%	・月に一度の事業所会議の際にヒヤリハットの共有と再発防止の対策を話合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待防止委員会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束の適正化委員会を設けている。	